

特産果樹生産情報　　　　　　　　　　　　　　　令和３年11月30日発表

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　青森県「攻めの農林水産業」推進本部

令和３年産特産果樹の生産概況

１　気象

（１）積雪深

　五戸（りんご研究所県南果樹部）の今冬の最深積雪は、１月８日の39cmで平年を下回った（平年53cm）。気温が１月上旬を除き、平年より高く推移したことから、消雪日は平年より18日早い３月２日であった。

　黒石（りんご研究所）の今冬の積雪深は12月中旬～１月中旬及び２月下旬に一時平年並または平年を上回って推移したものの、それ以外の期間は平年を大きく下回った。最深積雪は２月27日の74cmで平年（97cm）を下回った。３月の気温が高めに推移したことから、消雪日は平年より７日早い３月21日であった。

（２）気温

　五戸では、８月中旬、９月上旬及び10月中旬を除き、平年並から高く推移した。特に３月の最高気温の平均は10.7℃（平年6.8℃）、６月第２半旬の最高気温の平均は26.1℃（平年21.5℃）、６月第３半旬の最高気温の平均は27.6℃（平年21.5℃）と高かった。一方、１月に最低気温マイナス10℃以下を記録した日が計７日あった。

　黒石では、４月下旬、５月下旬、８月中旬、９月上中旬及び10月中旬を除き、平年並みから高く推移した。真夏日は計27日、猛暑日は計２日（８月３日に35.0℃、８月６日に35.5℃）観測した。３月の最低気温及び平均気温、９月下旬の最高気温は観測史上第１位に高かった。

（３）降水量

　五戸では、３月中旬、８月上旬及び10月上旬を除き、平年並から少なく推移し、４～10月までの総降水量は744.5㎜（平年比88％）と少なかった。一方、８月上旬は発達した低気圧の影響により169.5mm（平年比434％）と多かった。

　黒石では、５月及び10月を除き、平年並から少なく推移し、特に６月から９月までの総降水量は245.5mm（平年比54％）と観測史上第１位に少なかった。

（４）日照時間

　五戸では、８月中旬及び10月中旬を除き、平年より多く推移した。４～10月の総日照時間は1,411.3時間（平年比134％）と多かった。

　黒石では、５月下旬、８月中下旬及び10月中旬を除き、平年並から多く推移した。特に、６月は平年比134％、７月は平年比158％と多く、４月から10月までの総日照時間は1,333.9時間（平年比113％）と多かった。

２　主要果樹の生育経過等

（１）ぶどう

【キャンベル・アーリー（無加温ハウス）】

ア　生育ステージ

　発芽日は、五戸で平年より10日早い４月５日、三戸（県生育観測ほ）で２日早い４月２日であった。開花日は、五戸で平年より７日早い５月21日、三戸で２日早い５月12日であった。

　着色日は、五戸で平年より５日早い７月27日、三戸で１日早い７月16日であった。収穫始めは三戸で平年より１日遅い８月３日であった。

イ　作柄

　10ａ当たりの房数（以下、房数）、平均房重（以下、房重）ともに平年を上回ったことから、10ａ当たりの推定収量（以下、推定収量）は3,787kgと平年を上回ると見込まれた。

ウ　病害虫の発生状況

　褐斑病が一部園地でやや多かった。

【キャンベル・アーリー（露地）】

ア　生育ステージ

　発芽日は、五戸で平年より10日早い４月18日、三戸（県生育観測ほ）で８日早い４月17日であった。開花日は、五戸で平年より８日早い６月12日、三戸で４日早い６月９日であった。

　着色日は、五戸で平年より５日早い８月15日、三戸で６日早い８月８日であった。収穫始めは、三戸で平年より11日早い８月24日であった。

イ　作柄

　房数、房重ともに平年並であったことから、推定収量は平年並の2,461㎏と見込まれた。

ウ　病害虫の発生状況

　褐斑病、晩腐病が一部園地でやや多かった。

【スチューベン】

ア　生育ステージ

　発芽日は、黒石で平年より３日早い４月26日、弘前（県生育観測ほ）で３日早い４月26日、鶴田（県生育観測ほ）で３日早い４月28日であった。開花日は、黒石で平年より６日早い６月12日、弘前で２日早い６月14日、鶴田で４日早い６月15日であった。

　着色日は、黒石で平年より７日早い８月19日、弘前で６日早い８月20日、鶴田で１日早い８月23日であった。収穫始めは、弘前で平年より８日早い９月23日、鶴田で９日早い９月19日であった。

イ　作柄

　房数が平年並であったが、房重が平年を下回ったことから、推定収量は1,911㎏と平年を下回ると見込まれた。

ウ　病害虫の発生状況

　晩腐病が一部園地でやや多かった。

（２）おうとう

【佐藤錦】

ア　生育ステージ

　発芽日は、五戸で平年より８日早い４月15日、弘前（県生育観測ほ）で７日早い４月16日、南部町（県生育観測ほ）で６日早い４月13日であった。開花日は、五戸で平年より７日早い４月25日、弘前で５日早い４月27日、南部町で６日早い４月21日であった。

　着色日は、五戸で平年より５日早い６月９日、弘前で４日早い６月８日、南部町で４日早い６月６日であった。収穫始めは、弘前で平年より３日遅い６月28日、南部町で平年と同じ６月21日であった。

イ　着果状況

　一花束状短果枝当たりの着果数は、凍霜害の影響により全体的に平年よりも少なく、県南地域が0.85果（平年2.02果）、津軽地域が1.73果（平年2.13果）であった。

ウ　病害虫の発生状況

　ハダニ類が一部園地でやや多かった。

【ジュノハート】

ア　生育ステージ

　発芽日は、五戸で平年より６日早い４月18日であった。開花日は、五戸で平年より５日早い４月28日であった。

　着色日は、五戸で平年と同じ６月12日であった。

イ　着果状況

　一花束状短果枝当たりの着果数は、凍霜害の影響を受けた県南地域が0.91果（前年1.19果）に対し、津軽地域が2.29果（前年2.06果）であった。

ウ　病害虫の発生状況

　ハダニ類が一部園地でやや多かった。

（３）もも

【川中島白桃】

ア　生育ステージ

　発芽日は、五戸で平年より14日早い４月３日、黒石で16日早い４月５日、平川（県生育観測ほ）で10日早い４月７日であった。開花日は、五戸で10日早い４月25日、黒石で５日早い４月30日、平川で６日早い４月25日であった。

　収穫始めは、平川で平年より５日早い８月27日であった。

イ　果実肥大（横径)

　最終調査時の横径は、五戸が８月20日時点で7.9cm（平年比118％）、平川が８月21日時点で8.4cm（平年比116％）であった。

ウ　病害虫の発生状況

　せん孔細菌病がやや多く、ハダニ類が一部園地でやや多かった。

（４）西洋なし

【ゼネラル・レクラーク】

ア　生育ステージ

　発芽日は、五戸で平年より13日早い３月30日、南部町（県生育観測ほ）で７日早い３月31日であった。開花日は、五戸で平年より８日早い４月27日、南部町で６日早い４月27日であった。

　収穫始めは、五戸で平年より９日早い９月14日、南部町で６日早い９月12日であった。

イ　果実肥大（横径）

　五戸における最終調査時（９月20日）の横径は、9.7cm（平年比111％）であった。

ウ　果実品質

　五戸の収穫時（９月20日）における果実品質は、表面色及び地色は平年より高く、硬度及びヨードでんぷん反応は平年より低かった。糖度は平年より高く、酸度は平年より低かった。

エ　病害虫の発生状況

　全般に少なかった。

（５）うめ・あんず

【うめ（豊後）・あんず（八助）】

ア　生育ステージ

　五戸では、発芽日は、うめ（豊後）が平年より９日早い３月11日、あんず（八助）が10日早い３月24日であった。開花日は、うめが４月12日、あんずが４月13日でともに平年より10日早かった。

イ　病害虫の発生状況

　全般に少なかった。

※令和４年特産果樹生産情報第１号は、令和４年４月上旬に発表予定。